

2020年9月25日

当院の入院患者様及び職員における新型コロナウイルス感染症の発生につきまして
(第19報)

この度、患者さん及びご家族、関係者の皆様方に多大なるご迷惑、ご心配をお掛けしておりますことを深くお詫び申し上げます。

これまで院内の新型コロナ感染に関連した陽性者は、34名（クラスター病棟関連27名、その他7名）（患者18名：退院後判明3名含む、職員16名）となっております。今回の院内感染に関して、9月10日（木）から新規陽性者の発生はなく、最終の院内発生から14日間以上経過しました。また、9月25日（金）までに新型コロナ陽性患者さん並びに職員の療養解除が確認されました。入院中の疑症例および職員自宅待機者に行われた複数回のPCR検査で、全員の陰性が確認されました。

一連の院内感染に収束の目途がついたと判断し、病棟の入退院制限も解除しましたのでお知らせいたします。

当院では9月より院内において遺伝子検査（LAMP法とPCR検査）が実施できるようになり、感染対策として全ての新規入院患者さんへの検査を行うこととしました。また、その他検査が必要な患者さんや職員等に対しても迅速な検査、必要に応じて複数回の検査を実施し、早期対応ができる体制を構築してまいります。また、今回の院内感染の経験を生かし、さらに感染対策を徹底してまいります。

この度の院内感染により、お亡くなりになられた患者さんのご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、ご家族・ご親族の皆様には改めてお悔やみ申し上げます。

感染対策でご尽力いただいた沖縄県コロナ対策本部、那覇市保健所、国立感染症研究所、県外（福井、大分、高知、宮城、広島）よりご支援頂いた看護師の皆さん、診療制限によりご迷惑をおかけした地域の皆様、医療生協の組合員の皆様、那覇南部地区の医療機関の皆様のご協力に改めて心より感謝申し上げます。

感染対策を強化しつつ、より那覇南部地区の医療に貢献できるよう、尽力してまいりますので引き続きよろしく願い申し上げます。

沖縄協同病院 院長 伊泊広二